

## 言葉

人間の思想も、信仰も、人格も、生活も、徳も、罪惡も、全ては言葉となつて現われる。故に、言葉が人生を生み、社会を造る。

大聖には大聖の言葉あり、惡逆には惡逆の言語がある。故に、言葉のレベルが、その人の品格を決定する。

人一人として、一日中言語を使わないでは生きられぬ。

言葉について反省し、修養することは、我自らを成就することである。

積尊は、凡夫の言葉に、綺語かぜりごと、妄語いつわり、惡口、兩舌の四惡があると誠られた。四惡は唯に無益であるばかりでなく、自他を亡ぼす言葉である。

終日語るも、四惡を出でず、一生語るも、四惡にすぎず。沈黙するに如かず。四惡、四惡を知らるゝが故に、ますく馱弁を弄す。

沈黙の工夫あつて、言葉を選ぶべし。自己を培つて、はじめて金玉の言葉生れるべし。

毒舌、人を殺して、やがて汝が身に帰り、汝を孤独に葬り、

善語、人を生かして、やがて汝が身に帰り、汝を樂園の主とす。

他人の善語にも、毒舌をもつてするは惡魔である。毒舌に、毒舌を以てし、善語に善語を以てするは凡、善語に善語をもつてし、毒舌にも善語をもつてするは賢者である。

世界万国に響くも言葉であり、未来永遠に残るもまた言語である。

人生の本質にふれた言葉を聞いて、人生の本質にふれ、一言でも一句でも、人生の本質にふれた言葉を残したい。故に言語の問題はついに自己充實の問題である。